

21 世紀の生命を育む

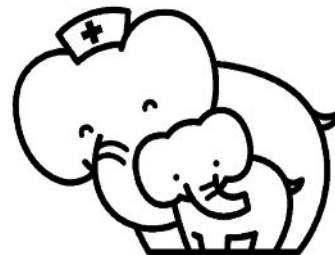
はしもと小児科

〒954-0112 見附市上新田町 449-7

TEL 0258-61-2400, 予約専用 61-2401, FAX 61-2402

<http://www.mynet.ne.jp/hasimoto/>

院長 橋本尚士:新潟大学医学博士,日本小児科学会認定小児科専門医,日本アレルギー学会認定アレルギー専門医



病気の時のお風呂



<高い熱がある時は入らない>

高い熱があるときは、お風呂はやめて安静にしましょう。

熱が下がったら、汗をさっと流して清潔にしてください。

37.7-37.8℃の微熱程度なら、お風呂に入ってもかまいません。



<熱がなくても、こんな時は入らない>

食欲がなく元気がない時、嘔吐や下痢をしてくったりしている時にはお風呂はやめましょう。

下痢だけならお風呂に入れて、お尻をよく洗ってください。



<咳や鼻みずが出ている時は？>

咳や鼻みずが出ていても、食欲があって元気であれば、お風呂に入ってもかまいません。



<登園登校禁止の病気などの時は？>

水痘の時には、お風呂に入ってもかまいません。皮膚をゴシゴシと強くこすらないでください。

流行性耳下腺炎の時には、熱がなければお風呂に入ってもかまいません。

インフルエンザの時には、高熱が下がればお風呂に入ってもかまいません。

麻疹、風疹、溶連菌感染症、突発性発疹の時には、熱が下がれば、発疹が残っていてもお風呂に入ってもかまいません。



<お風呂に入らないと...>

熱もないのに、咳や鼻みずが続くだけで、何日もお風呂に入らないのは、不衛生です。皮膚に汚れがたまって、あせも、とびひ、湿疹、アトピー性皮膚炎の悪化の原因になります。体調がよさそうなら、なるべくお風呂に入れましょう。



さっと流していつも清潔に